



September

9

9~11日

アメリカ / ニューヨーク

### 夏至祭りで「希望の火」が 焚火を点火しました

そのかがり火(ボンファイヤー)は、一年で最も日が高い日を祝い、敬うために焚かれます。地元のバンドが演奏し、火が消えるまで太鼓と踊りが続きます。582人が自分の願いを「希望の火(Flame of Hope)」に託して加えました。



24日

カナダ / モントリオール

### ポワント-サン-シャルル 有志50人の祈り

地域住民の祭典「ポワント-サン-シャルル・フェスティバル」の開催当日、タオサンガにてオープンデーが実施されました。50名を超える人々が訪れ、地球の明るい未来を願い、それぞれの祈りを捧げました。



October

10

12日

アメリカ合衆国 / ニューヨーク

### インド代表部、国連本部、 タイムズスクエア

ニューヨークのコラボレーション・パートナーを訪問しました。平和和解財団ニューヨークの創設者・代表の中垣顕實博士と、国連本部のインド代表、タイムズスクエアではN.Y.市民が希望の火に祈りを込めました。



October

14~22日  
オランダ / アルクマール

### PAX 平和週間

70以上の各都市の「平和大使館」が企画運営する恒例の全国平和週間、「希望の火」は毎年アルクマールのイベントに企画・参加しています。開幕セレモニーの直後のピースウォークにはPAXオランダの理事長ローリンさん(写真中央)も参加されました!



14日

アメリカ合衆国 / ニューヨーク

### オンライン・カースト解放の日

希望の火のスライドショープレゼンテーションを行い、インドのムンバイにあるアンバートカルの「永遠の炎」との合祀しました。「希望の火」に祈りを捧げるための式典です。



19~20日

アメリカ合衆国 / 「希望の火」センター

### 「希望の火」センター オープンハウス

ワークショップと念仏会を開催しました。



31日

アメリカ合衆国 / 「希望の火」センター

### フレイム・オブ・ホープ・センター ハロウィン ポップアップイベント

「希望の火」に願いが込められ、ステッカーがプレゼントとして配布されました。



December

12

14~22日

ネパール / ルンビニ

### ネパール・ルンビニ訪問

釈迦牟尼仏の生誕地であるルンビニにおいて、「希望の火」の点火式の準備を進めています。併せて、現地の政府小学校を訪問し、児童たちと希望の火を分かち合い、彼らの願いを集めます。そして学校の環境改善や児童が幸せになるための計画と支援の検討を行います。



21日

アメリカ合衆国 / ウィスコンシン州・マディソン

### 「希望の火」が 冬至祭の焚火を点火しました

728人が焚火/「希望の火」に願いを加えました。



21日

インド / ブッダガヤ

### 世界27カ国の僧侶が大集結! 「ティピタカ・チャンティング」に 「希望の火」声明

パーリ語で経典を10日間読み続ける荘厳な儀式「ティピタカ・チャンティング」が開催されました。会場は、お釈迦さまの悟りの聖地菩提樹のある大菩提寺。僧侶たちは分厚いパーリ語経典を手に各国エリアに分かれお経を唱えます。観光客、参拝者、瞑想者たちは、その響きに耳を傾けます。ブッダガヤには世界各国のお寺が集まっています。私たちは「希望の火」に祈りを込めてもらい、各国のマントラを学ぶために巡りました。今後、「希望の火声明」をより多国籍な形で実現するための準備です。タイ、ベトナム、台湾、ブータン、バングラデシュなど、さまざまな国のお寺を訪れ、それぞれの文化や祈りに触れる貴重な経験ができました。



イベントを主催するLBDFI(仏法光明・国際協会/The Light of Buddhadharma Foundation International)の代表、ワンモ・ディクシ氏にも「希望の火」にも祈りを込めていただきました。